

はしがき

国立教育政策研究所では、研究成果を教育現場や国民の皆様に直接還元し、学校運営や教育指導法の改善などに役立てていただくという趣旨により、平成2年度より教育研究公開シンポジウムを毎年度開催しています。

今回の第29回教育研究公開シンポジウムは、「生涯にわたる読書—家庭・学校・地域ではぐくむ生きる力—」というテーマにより、国民読書年にあたる平成22年8月に、東京で開催しました。

言語能力を培う基盤として読書活動の重要性が指摘される中で、本研究所では、平成19年度から平成21年度にかけて「言語力の向上をめざす生涯にわたる読書教育に関する調査研究」を実施し、読書活動の状況と読解力との関係などについて具体的なデータに基づく分析を行いました。

本シンポジウムは、こうした研究成果を基に読書活動・読書教育についての議論をさらに深めるために開催され、当日は教育委員会関係者や図書館関係者など約230名の参加者のもと、熱心な講演、報告、討論が行われました。

本報告書は、これらの講演等の内容を記録したものです。皆様の学校教育や図書館活動などの改善・充実に向けた参考となれば幸いです。

平成23年3月

国立教育政策研究所長

徳永 保

目次

はしがき

【主催者挨拶】	7
徳永 保 (国立教育政策研究所長)	
【基調講演】	11
五十嵐 絹子 (学校図書館アドバイザー)	
【研究報告】	25
研究報告1 「小中学生の読書活動と言語力を育てるメディア」	26
井上 豊久 (福岡教育大学教授)	
研究報告2 「成人の読書への関わりと言語力」	34
立田 慶裕 (国立教育政策研究所総括研究官)	
【パネルディスカッション】	41
「家庭・学校・地域で育む読書の力」	
報告1 「国民読書年とこれからの図書館」	42
神代 浩 国立教育政策研究所教育課程研究センター長 (前・文部科学省生涯学習政策局社会教育課長)	
報告2 「生涯にわたる読書推進計画」	51
八谷 俊一郎 福岡県宇美町立図書館長	
【ディスカッション】	62
五十嵐 絹子、井上 豊久、神代 浩、八谷 俊一郎、 黒澤 浩 (日本子どもの本研究会会長) コーディネーター 岩崎 久美子 (国立教育政策研究所総括研究官)	

【配付資料】	85
五十嵐 絹子氏資料	87
研究報告資料	96
神代 浩氏資料	132
八谷 俊一郎氏資料	134
黒澤 浩氏資料	156